



楠隼中学校・高校だより

全国から生徒が集う全寮制中高一貫教育校

中学校 初めての定期考査

今年新型コロナウイルスの影響で学校の日常生活もなかなかうまく回らないところもありましたが、なんとか無事に1学期を終えることができました。7月13日(月)から中学校は3日間、高校は4日間にわたって期末考査が行われました。本校では、大学入試を意識して、試験直前まで試験会場には入室できず、2分前に問題文が机に置かれた状態で入室をしていく形式をとっています。

特に中学1年生にとっては初めての定期考査。そして、今年度は新型コロナウイルスの影響で中間考査が実施できなかったため、最初から9教科(家庭科を除く)による定期考査となりました。いきなり9教科分の勉強をしていくために、試験勉強の計画を立てたり、実際に試験勉強を行ったりするのはとても大変だったと思います。しかし、試験中の集中力は凄いものでした。大切なことは試験が返ってきてからの振り返りです。一回一回の結果で満足せず、目指す「来たるべき日のために」常に前を向いて努力していったほしいと思います。そんな子どもたちのために、私たち教職員も一緒に前を向いて取り組んでいきたいと思えます。



高校 生徒会役員選出 選挙&寮生夜話

生徒会役員選出のための立会演説会及び選挙が、7月8日に行われました。令和二年度の新生徒会会長および副会長の立候補者は、中学校会長候補者が5名、副会長候補者が3名、高校会長候補者が3名、副会長候補者が1名となりました。それぞれの候補者は公約を掲げ、しっかりと自分の思いを伝え、アピールしていました。演説終了後、高校生に対して主権者教育の一環として、選挙についてお話しがありました。18歳の誕生日を迎え有権者となった際には、正しい知識と自分の意見をもつて投票所に向かってほしいと思えます。

立会演説会の後、投票が行われました。投票の方法も実際の選挙と同じように、実際の選挙で使われる投票箱を肝付町選挙管理委員会よりお借りして行いました。ありがとうございました。ございました。今回の結果を受けて、新たな生徒会が発足します。今後、益々楠隼中学校・高等学校が盛り上がっていくことを期待します。

7月25日の夜、楠隼寮では、今年度初めての寮生夜話が行われました。寮生夜話は、講師をお招きし、普段学校では聞くことのできない話を聞く行事です。今回の講師は、昨

年度海外へ留学した高校2年の2名の生徒です。1名の生徒は、およそ半年間アメリカへ、もう1名の生徒は、およそ2か月間ブラジルへ留学しました。2名とも新型コロナウイルスの影響で、留学途中で無念の帰国となりました。2名とも留学中に経験した出来事や苦勞したことなどを参加したおよそ60名の寮生に向けてスライド等を利用して話をしてくれました。参加した寮生は、普段は聞くことができない話にメモをとりながら積極的に聞いており、質問タイムでは多くの質問がありました。留学で得た経験をこれからの楠隼での生活に活かしてくれることを期待します。

